

中央防災会議 防災対策実行会議

# 大規模噴火時の 広域降灰対策検討ワーキンググループ（第1回）

## 議 事 次 第

日 時：平成30年9月11日（火）16：00～18：00

場 所：中央合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

### 3. 議 事

- （1）これまでの検討の経緯と今後の進め方について
- （2）富士山の大規模噴火時の降灰分布の推計手法について
- （3）降灰が与える影響の被害想定項目について
- （4）その他

### 4. 閉 会

#### <配布資料>

議事次第、配席図、委員名簿、設置趣旨

資料1 これまでの検討の経緯と今後の進め方について

資料2 富士山の大規模噴火時の降灰分布の推計手法について

資料3 降灰が与える影響の被害想定項目について

中央防災会議 防災対策実行会議  
大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ

委員名簿

主査	ふじい 藤井	としつぐ 敏嗣	東京大学名誉教授
委員	いしはら 石原	かずひろ 和弘	京都大学名誉教授
	いとう 伊藤	てつろう 哲朗	東京大学生産技術研究所客員教授
	おおの 大野	ひろゆき 宏之	一般財団法人砂防・地すべり技術センター専務理事
	こおりやま 郡山	ちはや 千早	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授
	しげかわ 重川	きしえ 希志依	常葉大学大学院環境防災研究科教授
	せきや 関谷	なおや 直也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授
	た た の 多々納	ひろかず 裕一	京都大学防災研究所教授
	たなか 田中	ひろし 博	筑波大学計算科学研究センター教授
	ながた 永田	ひさと 尚人	一般社団法人日本プロジェクト産業協議会防災委員会委員
	はせがわ 長谷川	まさみ 雅巳	一般社団法人日本経済団体連合会ソーシャル・コミュニケーション本部長
	はだ 秦	やすのり 康範	山梨大学大学院総合研究部工学域准教授
	まんねん 萬年	かずたか 一剛	神奈川県温泉地学研究所主任研究員
	やまざき 山崎	のぼる 登	国士舘大学防災・救急救助総合研究所教授

計 14 名（敬称略）

オブザーバ 内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付初動企画第一担当  
警察庁長官官房事態対処担当  
消防庁国民保護・防災部防災課  
文部科学省大臣官房文教施設企画部施設企画課  
厚生労働省大臣官房厚生科学課  
農林水産省大臣官房文書課災害総合対策室  
経済産業省産業保安グループ保安課  
国土交通省大臣官房参事官（運輸安全防災）付  
国土交通省水管理・国土保全局防災課  
気象庁地震火山部火山課  
海上保安庁警備救難部環境防災課  
環境省大臣官房総務課危機管理室  
防衛省統合幕僚監部参事官付  
茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課  
栃木県県民生活部危機管理課  
群馬県総務部危機管理室  
埼玉県危機管理防災部消防防災課  
千葉県防災危機管理部危機管理課  
東京都総務局総合防災部防災計画課  
神奈川県くらし安全防災局防災部災害対策課  
山梨県防災局防災危機管理課  
静岡県危機管理部 危機情報課

事務局 内閣府政策統括官（防災担当）



中央防災会議 防災対策実行会議

## 大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ

### 設 置 趣 旨

大規模噴火時には山麓のみならず、遠隔地域においても火山灰が堆積し、国民生活、社会経済活動に大きな混乱が生じることが懸念されていることから、都市機能が集積した首都圏等を中心とした広域な地域における、大規模噴火時の応急対策の在り方等について検討を行うため、防災対策実行会議の下にワーキンググループを設置する。